

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)

【公開番号】特開 2001-63669 (P2001-63669A)
【公開日】平成 13 年 3 月 13 日 (2001.3.13)
【出願番号】特願 平 11-245149
【国際特許分類】

B 6 2 K 11/04 (2006.01)

B 6 2 K 19/12 (2006.01)

【F I】

B 6 2 K 11/04 E

B 6 2 K 19/12

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 23 日 (2006.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

図 5 において、前記ブラケット 15 におけるフレーム側部 15a, 15a の下部には、車体中心線 C の両側に配置される左右一対のハンガ部 64, 65 が下方に突出して一体に設けられる。一方、エンジン E のクランクケース 20 における後部側上部には、前記両ハンガ部 64, 65 間に介在するようにしてボス部 20a が一体に設けられており、該ボス部 20a は、軸方向に比較的長い拡張部 70a を一端側に有して両ハンガ部 64, 65 および前記ボス部 20a に挿通される通しボルト 70 を介して車体フレーム F に支持される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

さらに車体フレーム F におけるブラケット 15 に設けられて該ブラケット 15 から下方に突出する左右一対のハンガ部 64, 65 のうち、車体中心線 C に関してチェーン伝動手段 27 とは反対側に配置されるハンガ部 65 には、通しボルト 70 の一端側の拡張部 70a を挿通せしめる挿通孔 68 と、該挿通孔 68 の内面に通じて下方に開放するすり割り 69 とが設けられるとともに、すり割り 69 の幅を狭めて前記挿通孔 68 を縮径する締付ボルト 73 が螺合されている。しかもハンガ 64 および前記ボス部 20a 間にはスペーサ 71 が介装され、通しボルト 70 は、その軸線に沿う方向でのボス部 20a との相対位置を規制されて両ハンガ部 64, 65 およびボス部 20a に挿通される。